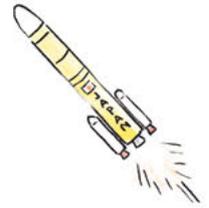


とびしま

第5次飛島村総合計画



災害に強い・活気・魅力・人づくり



目次

基本構想 7

- 1 むらづくりのテーマ……………8
- 2 達成すべきビジョン……………10
- 3 むらづくり4つの基本政策……………12
 - 0. 災害に強いむらづくり……………12
 - 1. 活気のあるむらづくり……………14
 - 2. 魅力のあるむらづくり……………16
 - 3. 人づくりによるむらづくり……………18

基本計画 21

- 重点施策……………22
 - 0. 災害に強いむらを実現する……………22
 - 1. 活気のあるむらを実現する……………23
 - 2. 魅力のあるむらを実現する……………26
 - 3. 人が輝くむらを実現する……………30
- 施策の展開……………32
 - 0. 災害に強いむらづくり……………32
 - 1. 活気のあるむらづくり……………34
 - 2. 魅力のあるむらづくり……………44
 - 3. 人づくりによるむらづくり……………62

「災害に強い・活気・魅力・ 人づくりの村 とびしま」を 目指して

本格的な人口減少社会の到来、ICT社会の進展、災害の激甚化、これに追い打ちをかけるように新型コロナウイルス感染症が発生・流行する中でウクライナ情勢が緊迫化するなど、社会情勢は急激な変化に見舞われています。その中で住民※ニーズは複雑多様化し、地域間競争の激化が見込まれると同時に、DX（デジタルトランスフォーメーション）、脱炭素、持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みが求められる中、これからの“むらづくり”の方向性を示すために策定したのが「第5次飛島村総合計画」です。

このガイドブックは村の「達成すべきビジョン」の実現に向けたむらづくりを“わかりやすく”お示しするものです。また本村のむらづくりへの理解を深めていただくとともに、その参画を促す手引書でもあります。ともにむらづくりを進め、よりよい飛島村を創造していきましょう。



飛島村長
加藤 光彦

※本計画における「住民」は、本村に住んでいる住民（村民）のみならず、本村に立地する企業および企業従事者をも含むものとして使用しています。

第5次飛島村総合計画

ガイドブックへようこそ!

ここでは、これからの飛島村のむらづくりが一望できるよう、ガイドブックの全体像を示します。

将来像

災害に強い・活気・魅力・人づくりの村とびしま

基本政策

0 - 災害に強いむらづくり 12

1 - 活気のあるむらづくり 14

2 - 魅力のあるむらづくり 16

3 - 人づくりによるむらづくり 18

重点施策

災害に強いむらを実現する

- 1 防災基盤を強化する 22
- 2 防災設備を強化する 23
- 3 避難訓練の実施・防災組織の強化 23

活気のあるむらを実現する

- 1 農業・水産業を振興する 24
- 2 商業を拡充する 24
- 3 さらなる工業の振興を進める 25
- 4 公園緑地の充実を図る 25
- 5 観光交流・プロモーションを推進する 25

魅力のあるむらを実現する

- 1 健康長寿社会を実現する 26
- 2 社会福祉を向上させる 27
- 3 高齢者福祉を向上させる 27
- 4 障がい者福祉を向上させる 27
- 5 効果的な土地利用を進める 28
- 6 居住環境を向上させる 28
- 7 道路整備を推進する 28
- 8 交通手段を充実する 29
- 9 環境問題に取り組む 29

人が輝くむらを実現する

- 1 子育て支援を充実させる 30
- 2 学校教育を充実させる 31
- 3 生涯学習・生涯スポーツを充実させる 31

施策

防災 地域防災力の強化 33

農業・水産業 農業・水産業の振興 35

商業 商業の充実 36

工業 工業の振興 37

公園緑地・自然 公園緑地・自然との共生・調和 38

観光交流・プロモーション 観光交流・プロモーションの推進 39

高度情報通信 高度情報通信の環境づくり 40

自治・協働 自治と協働のむらづくりの推進 41

行政サービス 行政サービスの充実 42

健康長寿 健康長寿社会の実現 45

医療 医療体制の充実・連携強化 46

社会福祉 社会福祉の充実 47

高齢者福祉 高齢者福祉の充実 48

障がい者福祉 障がい者福祉の充実 49

土地利用 効果的な土地利用 50

居住環境 居住環境の充実 51

道路 道路整備の推進 52

交通 交通手段の充実 53

上下水道 上下水道の適正管理 54

排水対策 排水対策の強化 55

環境問題 環境問題対策の充実 56

廃棄物対策 廃棄物対策の充実 57

防犯 防犯対策の充実 58

消防 消防体制の維持・充実 59

交通安全 交通安全の実現 60

子育て支援 子育て支援の充実 63

学校教育 学校教育の充実 64

若年層支援 若年層に向けた支援の継続 65

青少年育成 青少年の健全育成 66

生涯学習 生涯学習の充実 67

スポーツ スポーツの振興 68

文化 文化振興の推進 69

多様な人材の活躍・育成 多様な人材の活躍・育成の推進 70

男女共同参画 男女共同参画社会の形成 71



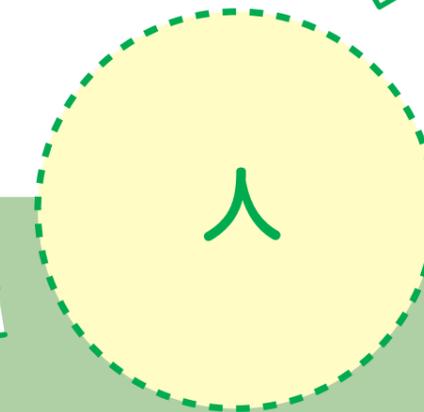
基本構想



総合計画は「基本構想」と「基本計画」から構成されます。この基本構想では「むらづくりのテーマ」とともに、飛島村が今後10年で「達成すべきビジョン」を描きます。それと同時に、「達成すべきビジョン」を実現するための取り組み方針として「むらづくり4つの基本政策」を示します。

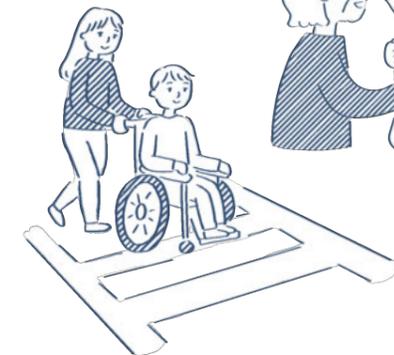
1 むらづくりのテーマ

“災害に強い”“活気”“魅力”“人”をむらづくりのテーマとし、このテーマがむらづくりの好循環を創出して本村の発展をゆるぎないものとしします。



2—魅力づくり

本村の「活気づくり」は「魅力づくり」につながり、その発信は村外の“人”を惹きつけ、多くの“人”の交流を生み出し、地域の誇りを醸成していきます。



1—活気づくり

本村における産業活動の活性化とともに地域活動の促進を図ることで「活気づくり」を推進します。「活気づくり」は、本村の“魅力”を輝かせることにつながります。



3—人づくり

本村の「魅力づくり」を発信し、一人ひとりが主役の「人づくり」を進めます。本村に関わる人々が活躍し、さらなる“活気”を呼び込む好循環を生み出します。



0*—災害に強い

※本村の特性を踏まえ、何よりも先んじて「災害に強い」ことが重要であることから、それをより印象づけるべく「0（ゼロ）」という数字を用いています。

本村は海拔ゼロメートル地帯が多く、災害危険性が高い地理的特性下にあります。災害から住民の命と暮らしを守るためには、これまでの教訓や検証を踏まえた防災・減災対策が重要です。「災害に強い」村であることは、むらづくりの前提・出発点です。

2 達成すべきビジョン

本計画の目標年度（令和14（2032）年度）で「達成すべきビジョン」を、「村の将来像」「人口指標」「ランドデザイン」という3つの側面から描きます。



互いに顔の見える本村のコミュニティは

いつの時代も欠かすことのできない、そのあたたかさを教えてください。

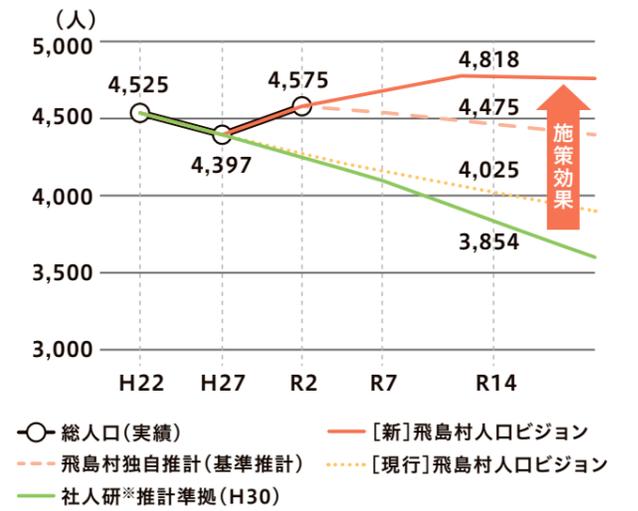
これは私たちの誇りであり、先人の残してくれた贈り物です。

この贈り物を次代につないでいくために「災害に強い」むらづくりを進め、

さらに「活気」「魅力」「人づくり」の好循環を生み出していきます。

人口指標

全国的に人口減少が進む中、村の人口減少に歯止めをかけることで現状維持に努め、村の活力を維持・向上させます。

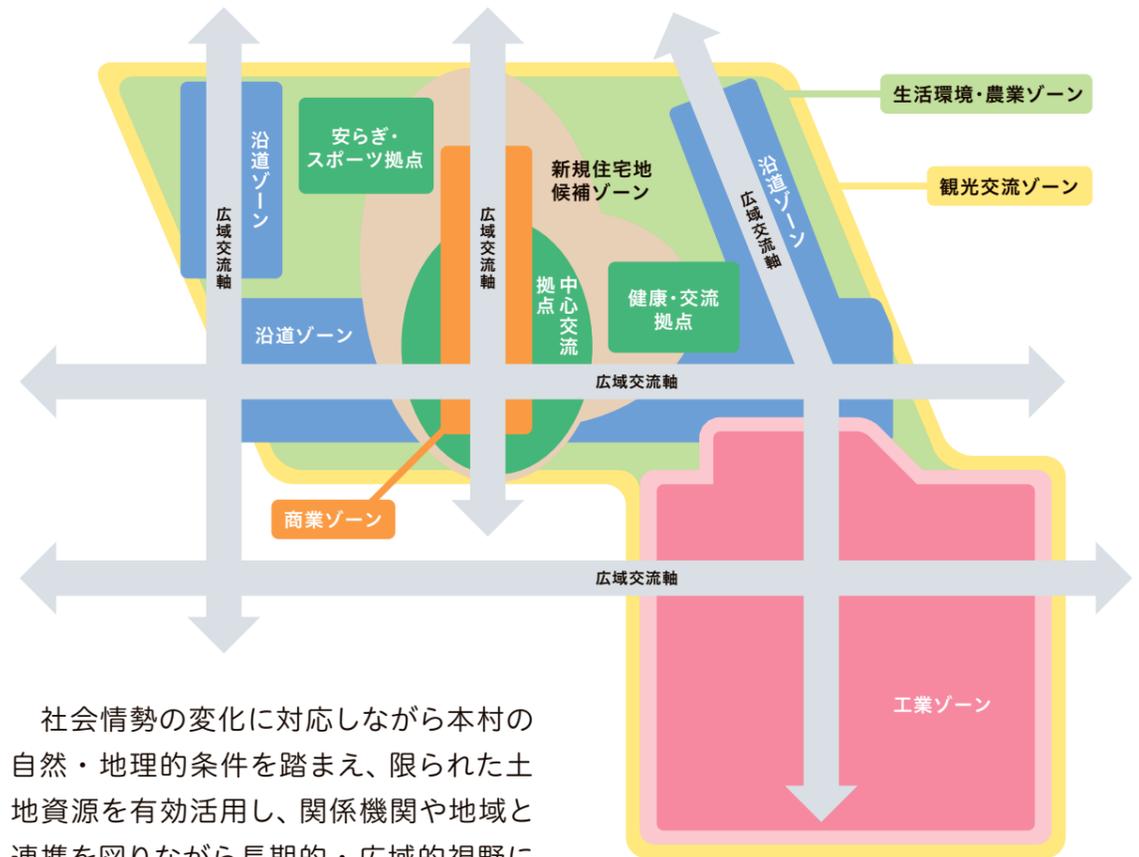


令和14(2032)年度末

4,800人

※「国立社会保障・人口問題研究所」の略称です。

ランドデザイン



社会情勢の変化に対応しながら本村の自然・地理的条件を踏まえ、限られた土地資源を有効活用し、関係機関や地域と連携を図りながら長期的・広域的視野に立ったランドデザインを目指します。

3 むらづくり 4つの基本政策

「達成すべきビジョン」は、「むらづくり4つの基本政策」の強力な推進によって達成を目指します。基本計画においてさらに具体化し、着実に推進していきます。

0 — 災害に強いむらづくり

施策分野と住民の幸せ

防災 「災害時の避難場所が避難所を含め 23 カ所確保されている」
「実践的な訓練を通じて発災時の行動が想定できる」

本村の災害リスクを住民や訪れる人が正しく理解し、自助・共助の考え方のもとで人的被害が軽減できるよう取り組みを推進します。また、地震のほか激甚化する自然災害に対しても、誰もが可能な限り防災リスクを把握し、軽減される努力が積み重ねられるよう、“災害に強いむらづくり”を展開します。

基本計画における展開・方向性

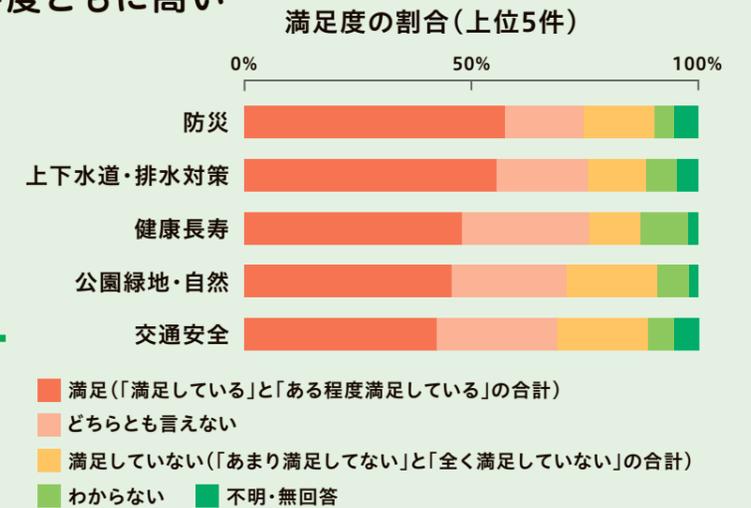
- 避難施設をはじめ、農地や堤防などのあらゆる施設・設備を防災の観点から整備・充実を進める
- 住民の防災意識のさらなる向上や、広域的視点も含めた各種機関との連携強化
- 本村の特性を生かした維持・発展が続けられるよう、すべての活動の起点・基本となる防災対策を推進



「災害に強い飛島村」を実現

「防災」は満足度・重要度ともに高い (住民アンケート)

住民アンケートにおける分野別施策の満足度のトップは「防災」で、分野別施策の重要度のトップも「防災」となっています。



飛島村の強みと弱み

強み

- ・避難所が整備されている
- ・顔が見える関係、人との関係が密接
- ・財政力が豊か

弱み

- ・防災に力を入れなければ、すべてのことが吹き飛ぶ。防災がすべての基盤
- ・海拔0m以下で災害に弱い
- ・住民のリーダー不在・受け身

防災の重要性は、 ワークショップでも指摘される (住民ワークショップ)

住民ワークショップでは本村の「強み」と「弱み」を語り合い、その中でも防災の重要性が指摘されました。



安全・安心な村が求められている (意見収集ボード)

意見収集ボードによる意見収集では、主な意見として「安全・安心な村」についての意見が寄せられました。

意見収集ボードで多かった意見

- No.1 | 安全・安心な村の実現
- No.2 | 安心も進化してほしい
- No.3 | 地震の心配が少ない村になってほしい

1 活気のあるむらづくり

施策分野と住民の幸せ

農業・水産業	「農地の維持・機能向上」「農作物等の販路拡大」
商業	「生活の利便性向上」「既存店の販路拡大等」
工業	「企業との連携」「脱炭素化の加速」
公園緑地・自然	「各世代のニーズに応えた公園」「住環境の改善につながる」
観光交流・プロモーション	「シビックプライド（郷土愛）の醸成」 「村内外の人が集う場所、機会の創出」
高度情報通信	「高速通信網が利用できる環境」 「情報通信技術（ICT）を誰もが活用できる社会」
自治・協働	「地域のコミュニティが維持される」「団体活動の維持」
行政サービス	「オンラインで簡単に手続きができる」 「信頼ができ、気軽に相談できる」

本村における農業等の生産性向上に取り組みつつ、村内における商業活動の活性化に向けた支援に取り組むなど、村内における生活利便性の維持・向上に努めます。また、臨海部をはじめとする企業とのパートナーシップを構築し、企業連携に取り組むなど、産業活動の活性化による活力の創出を進めます。さらに、住民のニーズに応えた公園緑地や自然の活用・再整備等のむらづくりとともに、全国に広く本村の魅力がPRできるような観光交流・プロモーション活動を推進します。

住民と行政の協働による課題解決や、地域の自治活動の維持・活性化に取り組むつつ、持続可能性のある行政を確立するなど、“活気のあるむらづくり”を展開します。

基本計画における展開・方向性

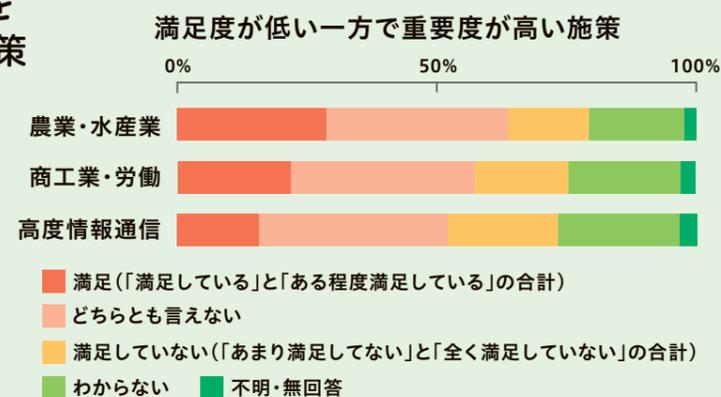
- 本村の村域に対応して展開されている産業活動と住民活動の二面性を捉えつつ、農業・水産業、商業、工業等の産業分野の活性化を図る
- 住民・行政の協働の基盤としての環境整備と、その取り組みの充実を図る
- 村域それぞれの相互的な交流を、本村の“さらなる強み”にする



「活気ある飛島村」を実現

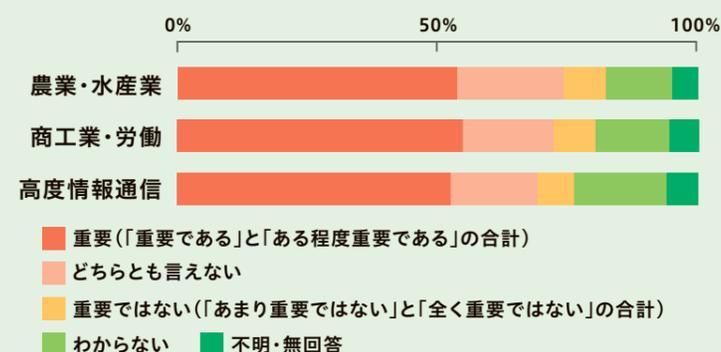
活気のあるむらづくりを進めるために重要な施策（住民アンケート）

「農業・水産業」「商工業・労働」「高度情報通信」の満足度が1割半ば～3割程度に対して、重要度は5割～5割半ばと高く、そのギャップがうかがえます。



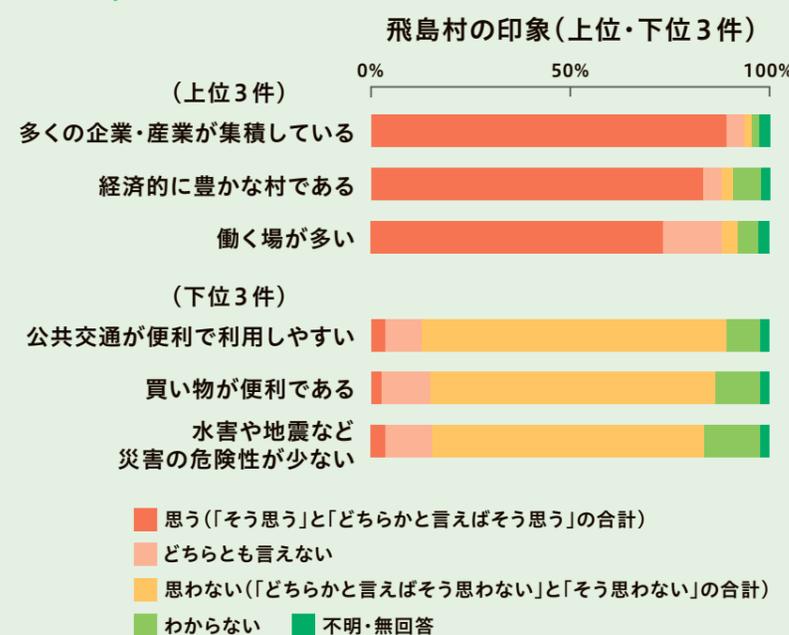
協働してむらづくりを進めるためには「情報の公開」を充実（住民アンケート）

住民と行政が協働してむらづくりを進めるためには、「むらづくりの情報の公開を充実すること」が最も高くなっています。



村内勤労者からみた、本村に対する印象（村内勤労者アンケート）

村内の勤労者から見た本村の印象についてみると、「多くの企業・産業が集積している」「経済的に豊かな村である」「働く場が多い」が高くなっています。一方で「公共交通が便利で利用しやすい」「買い物が便利である」「水害や地震など災害の危険性が少ない」が低くなっています。



2 魅力のあるむらづくり

施策分野と住民の幸せ

健康長寿	「生きがいがあり、健康で寿命が長い」「多様な人材との交流」「どの世代も生きがいとしての活躍の機会がある」
医療	「地域医療体制の充実・連携強化」
社会福祉	「社会参加による環境の改善」「認め合える支援体制の充実」
高齢者福祉	「高齢者の外出機会、生きがいづくり」「老人クラブだけではない交流の機会」
障がい者福祉	「誰もが活躍できる地域」「住み慣れた地域で生活できる環境」
土地利用	「住みたい人が住める」「商業施設等が拡充し住みやすさが向上」
居住環境	「住環境の保護」
道路	「渋滞の少ない道路、安全で快適な道路の計画的な整備」
交通	「交通弱者の移動手段の確保」「利便性の向上」
上下水道	「衛生的なインフラが整備、維持される」
排水対策	「豪雨を想定した排水対策がなされている」
環境問題	「環境への配慮が実感できる」
廃棄物対策	「廃棄物の適切な処理、再利用」「家庭ごみを減量し、排出を減らす仕組み」
防犯	「防犯カメラが整備されている」「相互見守りができている」
消防	「常設消防に加えて消防団が機能している」
交通安全	「物理的に車両との接触が避けられる安全な道路」

健康長寿の取り組みや一人ひとりが主役のむらづくりとともに、居住環境、交通施策、環境問題や廃棄物対策に取り組むなど、持続可能なむらづくりを進め、どの世代にとっても“魅力のあるむらづくり”を展開します。

基本計画における展開・方向性

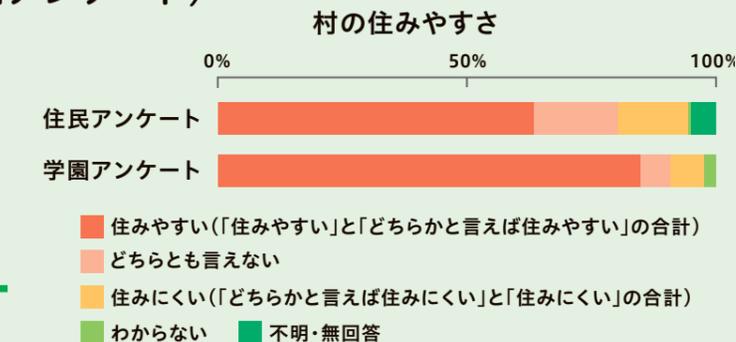
- 健康・福祉基盤の向上に努め、多様なニーズに対応した本村ならではの魅力を高める
- いきいきとした日々の交流の中で住民が生きがいを見出し、あたたかいつながりが持てるむらづくり



「魅力ある飛島村」を実現

多くの方が村の住みやすさを感じている (住民アンケート、学園アンケート)

住民アンケートおよび学園アンケートで村の住みやすさについてうかがったところ、いずれも多くの方が住みやすいと答えています。



村に対する愛着や好感度は高い (住民アンケート、学園アンケート)

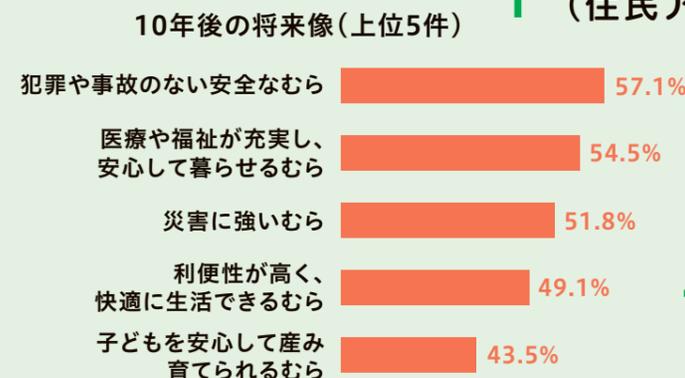
住民アンケートでは7割以上が村への愛着を感じています。また、学園アンケートでは8割近くの生徒が村への好感度を示しています。



立地企業が感じる村の魅力は 「道路アクセス」「港湾の利便性」 (企業アンケート)

本村の立地企業は、村の魅力を「道路アクセス」の良さ、「港湾の利用しやすさ」、「市場、取引先に近い」の順に挙げています。

「防犯」や「医療・福祉」の充実が この10年間で求められる (住民アンケート)



この10年で、「犯罪や事故のない安全なむら」「医療や福祉が充実し、安心して暮らせるむら」「災害に強いむら」が求められています。

3 一人づくりによるむらづくり

施策分野と住民の幸せ

子育て支援	「子育てに関する不安を払拭」「子育てと仕事が両立できる環境」
学校教育	「子どもへの食育の推進」 「未来を担う子どもたちの育成(自主性)(論理的思考)(自己表現)」 「誰ひとり取り残さない教育環境」 「学校と家庭の連携が十分に取れる環境」 「教職員の研修の充実」「子どもがすこやかに育つ地域の形成」 「郷土に誇りを持つ人材の育成」「高齢者との交流」
若年層支援	「経済環境によらず誰もが等しく学べる環境」
青少年育成	「家庭教育への支援が行き届く環境」
生涯学習	「自身が求める活動機会が用意される」
スポーツ	「自身が求める活動機会が用意される」
文化	「地域芸能を守る」「歴史と文化の保護、管理、活用」
多様な人材の活躍・育成	「誰もが多文化共生を学ぶ機会がある」 「グローバル化に対応できる人材の育成」
男女共同参画	「多様性に配慮のできる社会環境」 「女性が参画しやすい社会環境」

子どもは地域の宝であるということを念頭に、子育て支援の充実を進めるとともにグローバル社会を生き抜く子どもを育成すべく、英会話をはじめとする、英語教育を推進します。また一人ひとりが主役となる教育支援体制を構築するなど学校教育のさらなる充実等を図り、本村の豊かな地域資源を活用しながら、さまざまな世代の人たちが持つ村への誇りと愛着を醸成し“人づくりによるむらづくり”を展開します。

基本計画における展開・方向性

- 村の未来を担う子どもたちが健やかに生まれ、世界で活躍できる素地とともに、住民それぞれが持つ個性を最大限に発揮できる環境づくりを進める
- きめ細やかな人づくりとともに、人づくりを支える環境づくりも推進



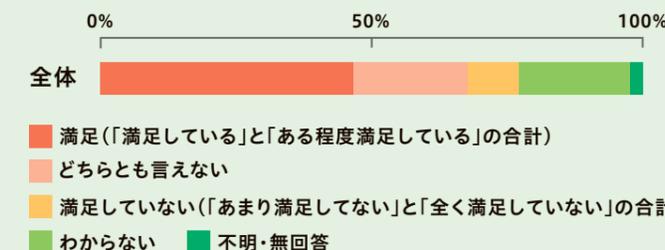
「人づくりの飛島村」を実現

「文化施設」や「公園や広場」の充実が、飛島村の良いところ (学園アンケート)

村の良いところは、「図書館やホールなど、文化施設が整っている」ことや「公園や広場などが身近にある」となっています。



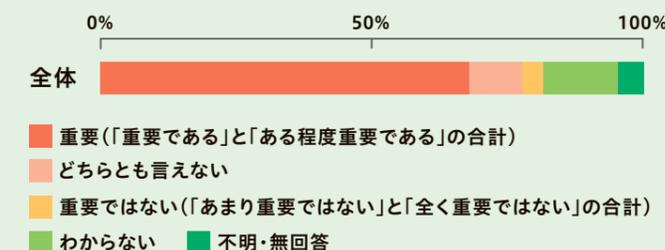
「子育て」の満足度



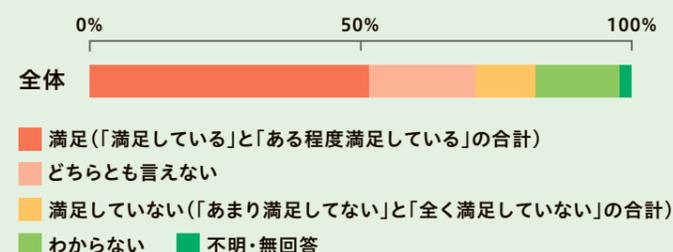
「子育て」施策の重要度は約7割 (住民アンケート)

「子育て」施策の満足度は4割半ば、その重要度は約7割となっています。

「子育て」の重要度



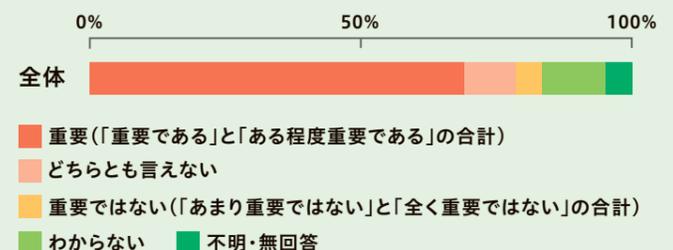
「学校教育・青少年健全育成」の満足度



「学校教育・青少年健全育成」の重要度も約7割 (住民アンケート)

「学校教育・青少年健全育成」施策の満足度は5割、その重要度は約7割となっており、ここでも人づくりの重要性が認識されています。

「学校教育・青少年健全育成」の重要度

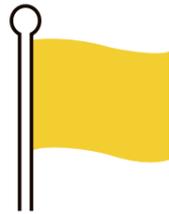




基本計画

基本計画では、基本構想で描いた「達成すべきビジョン」を実現するための具体的な取り組みを「重点施策※」と「施策の展開」によって示します。施策の展開では“住民と行政といっしょに”むらづくりに取り組んでいくための役割分担を描いています。身近なことから、ぜひ“むらづくり”に取り組んでみてください。

※重点施策には、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「地方版総合戦略」を含みます。



重点施策

基本構想で定めた「達成すべきビジョン」を実現するため、特に重点的かつ具体的に取り組んでいく施策については「重点施策」として示します。

0 — 災害に強いむらを実現する

住民が安心感を持って日々暮らし、活動することができるよう、堤防や排水施設の強化に取り組めます。さらに、防災情報の発信手段の向上とともに、有事の防災リスクを誰もが可能な限り把握し、軽減する行動に移せるよう取り組み、災害に強い村を実現します。

数値目標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
村の防災対策に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	57.4%	▶ 63%*

※令和9(2027)年度の目標値は、現状(令和3(2021)年度)の基準値から1割程度の数値の改善を目指すものです。



1 防災基盤を強化する

関連するSDGs



想定される南海トラフ地震をはじめ、甚大化する自然災害に備えて、今後も国や県に堤防や排水施設の強化を要望しながら、村(土地改良区)においても排水施設の維持管理を徹底します。そのことにより、地盤面の低い地域であっても、強固な堤防や排水施設に守られることで、住民が安心感を持って暮らせる村を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 堤防および排水施設の強化・維持
- 排水施設の維持・管理への支援



2 防災設備を強化する

関連するSDGs



視認性の高い発光型避難看板を設置することなどにより、日頃の訓練どおりに自らの命を守る行動がとれる村を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 防災設備の維持・管理



3 避難訓練の実施・防災組織の強化

関連するSDGs



すべての住民が避難できる場所を確保するとともに、住民が地震や風水害の危険度をしっかりと理解し、いざというときに身を守る行動がとれる村を目指します。

実現に向けた主な取り組み

- 地域が一丸となった実践的防災訓練の実施

1 — 活気のあるむらを実現する

本村における農業等の生産性向上と商業の拡充とともに、本村の特徴である工業のさらなる振興を図ります。また、公園緑地の充実を図り、村の魅力を高めるとともに発信する観光交流・プロモーションを充実させるなど、活気のある村を実現します。

数値目標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
村の公園緑地等の事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	45.7%	▶ 50%*

数値目標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
村の農業水産業に関連する事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	28.7%	▶ 32%*
村の商工業に関連する事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	21.8%	▶ 24%*
企業の立地に対する総合的な満足度 (企業アンケートのうち「非常に満足している」および「おおむね満足している」と回答した企業の割合)	53.4%	▶ 59%*
商店の3年後の事業展開の展望 (商店アンケートのうち「現在と同じ事業分野で展開する」および「現在の事業分野に加えて新規事業を展開する」と回答した商店の割合)	86.9%	▶ 現状維持

※令和9(2027)年度の目標値は、現状(令和3(2021)年度)の基準値から1割程度の数値の改善を目指すものです。

1 農業・水産業を振興する

関連するSDGs



農業生産物を出品できる機会の創出により、産直市の拡大に伴うにぎわいづくりとともに、幅広い出荷者の生きがいと所得を高めるなど、農業の振興を図ります。

実現に向けた主な取り組み

- 農地の維持・機能向上
- 生産物の販路拡大
- 優良農地の保全
- 農政懇談会の開催

2 商業を拡充する

関連するSDGs



すべての住民が魅力を感じる業態の誘致や、既存店の維持・発展に向けて支援を行い、住民が便利に暮らせる、継続的に村内で基本的な買い物ができる村を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 既存店の販路拡大・販売支援等の推進
- ニーズに応じた新業態の既存店等への展開支援

3 さらなる工業の振興を進める

関連するSDGs



企業が継続的に事業展開できるようニーズ把握・課題解決に取り組むとともに、事業を発展的に継続できるよう従業員の利便性を高める環境づくりを進めます。

実現に向けた主な取り組み

- 臨海部企業との連携・交流

4 公園緑地の充実を図る

関連するSDGs



村内外の人が安らぎを感じられる公園を整備し、多くの人が集まることで生まれる交流や、多様な活動を行うことができる環境づくりを推進します。

実現に向けた主な取り組み

- 総合的な公園の整備

5 観光交流・プロモーションを推進する

関連するSDGs



観光交流拠点の整備とともに、工場夜景都市としての魅力等、新たな情報を全国に向けて発信しつつ、観光誘客による商店のにぎわいづくり等を進めます。

実現に向けた主な取り組み

- 多様な観光交流ルートの創出
- 観光交流拠点の創出(ふれあいの郷の再編)
- プロモーションの推進
- 観光資源・特産品の開発

2 魅力のあるむらを実現する

健康長寿社会の実現に向けた取り組みとともに、社会福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の充実を図ります。また人口減少による村の活力低下を防ぐべく、効果的な土地利用や住みやすい居住環境の実現に向けて取り組むなど、魅力のある村を目指します。

数値目標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
村の健康長寿事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	47.8%	▶ 53%※
村の医療・高齢者福祉・障がい者福祉に関する事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	45.7%	▶ 50%※
村の交通安全事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	42.3%	▶ 47%※
村の道路・交通に関する事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	41.3%	▶ 45%※
村の環境対策に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	36.4%	▶ 40%※

※令和9(2027)年度の目標値は、現状(令和3(2021)年度)の基準値から1割程度の数値の改善を目指すものです。

1 健康長寿社会を実現する

関連するSDGs



住民が健康づくりに取り組みながら、地域で支え合い、交流の機会が多く持てる社会を目指します。そのことにより、誰もが活躍の機会があり、地域で支え合いながら、元気で心豊かに暮らせる村を目指します。

実現に向けた主な取り組み

- 健康長寿のむらづくりの推進

2 社会福祉を向上させる

関連するSDGs



すべての住民に居場所があること、多世代による交流機会があること、また重層的支援体制を整備し取り組みを進めることで、誰もが社会参加し、認め合い、生きがいを持てる村を目指します。

実現に向けた主な取り組み

- 住民互助の仕組みづくり

3 高齢者福祉を向上させる

関連するSDGs



シルバー人材センターに加えて、高齢者がその知見や経験を生かして、さらに活躍できる機会を創出することにより、その活躍の機会を増やすとともに、いつまでも健康で長生きできる環境を目指します。

実現に向けた主な取り組み

- 高齢者の生きがい創出

4 障がい者福祉を向上させる

関連するSDGs



村内および海部地域等で連携し、住み慣れた地域で生活・就労できる環境を整え、誰もが尊重し、支え合うことのできる地域共生社会の実現を目指します。

実現に向けた主な取り組み

- 障がいのある人の生きがい創出

2— 魅力のあるむらを実現する

5 効果的な土地利用を進める

関連するSDGs



農地の減少は最小限にとどめながら、新規住宅地の開発を模索します。新規住宅地への転入者による人口増や、流出人口の抑制により、目標人口を達成することで村の活気を維持します。

実現に向けた主な取り組み

- 転入増加・転出抑制の推進

6 居住環境を向上させる

関連するSDGs



住民と行政が一丸となり、落ちていくごみが少ない環境づくりを進めることで生活環境を向上させます。そのことにより居住環境が整い、防犯面でも安全な村を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 環境美化の推進
- 防犯対策の充実

7 道路整備を推進する

関連するSDGs



村内の生活道路に進入する車両の速度抑制を図り、安全で住みやすい住環境を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 安全な道路整備の推進

8 交通手段を充実する

関連するSDGs



村内企業の従業員をはじめ、住民ニーズに応えるとともに、名二環、リニア開通等の交通環境の変化を踏まえた交通網を再編成します。また、既存の公共交通では補完できない、個別の住民ニーズに対応する方策を模索します。

実現に向けた主な取り組み

- 飛島公共交通バスの再編・充実
- 福祉的な交通手段の充実

9 環境問題に取り組む

関連するSDGs



住民参加によって環境問題に積極的に取り組むとともに、村の環境を美化・維持しながら次世代につないでいきます。そのことによって住民の環境保全への意識が高まり、よりよい環境づくりができる村を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 環境対応車の導入
- 循環型社会の形成



3 一人が輝くむらを実現する

子どもは地域の宝であるということを念頭に、安心して子どもを産み育てられる子育て支援環境の充実に取り組みます。また、「生き抜く力」を育む学校教育や、住民が活躍できる生涯学習・生涯スポーツの充実を図ることにより、人が輝く村を実現します。

数値目標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
村の子育て関連事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	46.6%	51%*
村の学校教育に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	51.5%	57%*
村の生涯学習・スポーツ・文化関連事業に対する満足度 (住民アンケートのうち「満足している」および「ある程度満足している」と回答した人の割合)	38.4%	42%*

*令和9(2027)年度の目標値は、現状(令和3(2021)年度)の基準値から1割程度の数値の改善を目指すものです。

1 子育て支援を充実させる

関連するSDGs



出産から就学の間における切れ目のない支援体制を充実させるほか、子育て世代の負担軽減のため既存事業の拡大・拡充を図ります。そのことにより子育てと仕事の両立とともに、安心して子どもを産み育てられる村を目指します。

実現に向けた主な取り組み

- 切れ目のない子育て支援体制の充実
- 子育て世代の負担軽減

2 学校教育を充実させる

関連するSDGs



給食の安全性をより高めるとともに、減農薬野菜を用いた給食の提供や地産地消等の食育を進めます。また、村で唯一の学校である飛島学園の優位性を生かした小中一貫教育を通じて「確かな未来を拓く」飛島っ子を育成します。

実現に向けた主な取り組み

- 安心・安全な給食の無償提供
- 生き抜く力の育成
- 誇りを育む教育の推進

3 生涯学習・生涯スポーツを充実させる

関連するSDGs



文化協会、スポーツ協会の活動を支援しつつ、住民ニーズを捉えた誰もが活躍の機会がある村を目指します。そのことにより多様化するニーズに応えた活動機会が提供され、住民それぞれが興味のある分野で活躍できる村を実現します。

実現に向けた主な取り組み

- 村内イベントの充実
- グローバル人材の育成



0

災害に強い むらづくり



(1)防災：地域防災力の強化

住民の幸せ

- ▶「災害時の避難場所が避難所を含め23カ所確保されている」
- ▶「実践的な訓練を通じて発災時の行動が想定できる」

施策の
目的と課題

国や県の防災計画等の修正に沿った地震想定の見直しを踏まえながら、住民の誰もが可能な限り災害リスクを把握し、発災時の被害を軽減すべく防災・減災のバランスに配慮したむらづくりに努めます。また、発災を念頭に置きながら住民の防災・減災意識を高めるとともに、地域が一丸となった活動を促進します。

主な取り組み

- ① 防災拠点の維持・強化
- ② 堤防の強化
- ③ 防災設備の維持・管理
- ④ 要援護者の把握による
社会福祉の向上
- ⑤ 発災を想定した、多様かつ
実践的な訓練の実施
- ⑥ 防災体制の強化
- ⑦ 関係機関との連携強化
- ⑧ 災害リスクの低減
- ⑨ 農地の防災活用

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
地域防災計画等の更新	年1回	年1回
堤防および排水施設の強化に向けた国・県等への要望活動の継続	継続	継続
地域が一丸となった実践的防災訓練の実施	年1回 令和4(2022)年度 の実績	年1回

住民

日頃から備蓄や避難所の確認等に努め、発災時は村からの情報に耳を傾け行動します。

住民と行政と
いっしょに

行政

平時は設備等の維持・充実に努め、発災時には迅速かつ確実な情報提供を行います。

1

活気のある むらづくり



(1) 農業・水産業：農業・水産業の振興

住民の幸せ

- ▶「農地の維持・機能向上」
- ▶「農作物等の販路拡大」

施策の
目的と課題

食に対する安全・安心志向や地産地消意識の高まりと同時に、村の基幹産業である農業への理解を醸成していく必要があることから、総合的な農業振興を図ります。生産性の高い村を目指して生産効率を高める基盤整備とともに、多様な生産活動が成り立ち、農地の有効活用が図られる農業地域づくりを進めます。

主な取り組み

- ① 農地の維持・機能向上
- ② 農地の保全
- ③ 生産物の販路拡大
- ④ 農政懇談会の開催



主な計画指標

	基準値	目標値
	令和3(2021)年度	令和9(2027)年度
排水施設の維持管理に向けた土地改良区への補助金	継続	継続
地域計画の策定*	—	策定済
担い手への農地の利用集積面積	278ha	360ha
農地中間管理事業の周知(広報・イベント等)	年1回	年2回

※地域の将来の農業のあり方、将来の農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標を定めたもので、農地所有者と農業の担い手とを結びつける手段となります。

住民

地産地消を心掛け、村の特産品をPRします。

行政

飛島村ならではの、魅力あふれる農業の展開を支援します。

住民と行政と
いっしょに

(2) 商業：商業の充実

住民の幸せ

- ▶「生活の利便性向上」
- ▶「既存店の販路拡大等」

施策の
目的と課題

商業従事者の高齢化や後継者不足等により、村内の商店数が減少していることから、村内の既存店への多様な支援策を講じて販路拡大に取り組むなど、暮らしの利便性向上を図ります。そのことにより、基本的な買い物は村内で完結する村を目指します。また、臨海部企業との連携を強化して共存共栄を図ります。

主な取り組み

- ① 既存店の販路拡大・販売支援等の推進
- ② ニーズに応じた新業態の既存店等への展開支援
- ③ 商工会への継続支援



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
住民ニーズに応じた既存店における多様な業種展開への補助制度	—	整備済
商工会と連携した、事業者が必要とする支援策	継続	継続

住民

村内における積極的な消費に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

村内商店の存続に向けた支援策を講じます。

(3) 工業：工業の振興

住民の幸せ

- ▶「企業との連携」
- ▶「脱炭素化の加速」

施策の
目的と課題

臨海部企業が立地する本村の南部区域と、主に住民が居住する北部区域がエリア分けされており日常的な交流はほぼないことから、企業と行政、また企業と住民の連携強化・促進を図ります。また、新たな企業が立地しやすい環境づくりに取り組むなど、企業との良好なパートナーシップが構築された村を目指します。

主な取り組み

- ① 企業との連携・交流
- ② 本村の資源を生かしたサテライトオフィス等の整備
- ③ 企業と連携したSDGs(環境対策)の推進
- ④ 村内施設の利用促進

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
臨海部に立地する企業のうち名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会への加入者割合	58.4%	60%
サテライトオフィスの整備	—	整備済
SDGs(環境対策)の講習の開催	—	年1回
名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会担当者意見交換会の回数	年1回	年6回

住民

企業への理解を深めるとともに、交流の機会を捉えて参加します。

住民と行政と
いっしょに

行政

企業のニーズ把握に努めるとともに、地域住民と企業のパイプ役を担います。

(4) 公園緑地・自然：公園緑地・自然との共生・調和

住民の幸せ

- ▶「各世代のニーズに応えた公園」
- ▶「住環境の改善につながる」

施策の
目的と課題

本村では各地区に公園がありますが、多目的に使える総合公園になっておらず、また子育て世代等をはじめとする住民ニーズを反映した公園の整備が求められるなど、住民の暮らしに身近な公園づくりが必要です。住民の身近に憩いの場があり、人が集い交流し、にぎわいのあふれる環境づくりを住民との協働のもとで進めます。

主な取り組み

- ① 総合的な公園の整備
- ② 地区公園の整備・維持
- ③ 自然環境の保全



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
総合的な公園の整備	—	整備済
住民が管理する公園の数	2カ所	現状維持

住民

地域の公園を積極的に活用するとともに、環境美化活動への参加に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

住民ニーズを的確に把握し、魅力的な公園整備に努めます。

(5) 観光交流・プロモーション：観光交流・プロモーションの推進

住民の幸せ

- ▶「シビックプライド(郷土愛)の醸成」
- ▶「村内外の人が集う場所、機会の創出」

施策の
目的と課題

観光に対するニーズが複雑多様化している中、観光資源の発掘・活用により村の知名度を高めることで交流人口や関係人口の増加を図り、村のにぎわいを創出することが求められています。本村の特徴ある資源を活用して魅力を創出するとともに、広く周知・プロモーションを進めます。

主な取り組み

- ① 多様な観光交流ルートの創出
- ② 観光交流拠点の創出
- ③ プロモーションの推進
- ④ 観光資源・特産品の開発
- ⑤ 魅力的な誘客イベントの実施
- ⑥ 誘客施設の一体的開発・観光的活用
- ⑦ SNSを活用した情報発信・交流人口の増加
- ⑧ 広域観光の推進

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
観光交流拠点の整備 (ふれあいの郷の再編)	—	整備済
観光交流協会の組織強化	—	改編済
特産品の種類の増加	1種類	10種類

住民

イベントへ積極的に参加します。

住民と行政と
いっしょに

行政

イベントの開催や施設の再編等により、本村の魅力を高めつつ、全国に向けて発信します。

(6) 高度情報通信：高度情報通信の環境づくり

住民の幸せ

- ▶「高速通信網が利用できる環境」
- ▶「情報通信技術 (ICT) を誰もが活用できる社会」

施策の
目的と課題

誰もがネットワークにつながり、情報を瞬時に受発信できる環境の中、本村のネットワークの活用と、さらなる利便性の向上が求められています。住民の生活利便性の向上とともに来訪者が快適に本村で過ごせるよう、そして行政サービスの向上を図るべく情報化を促進し、その技術活用とともに発展する村を目指します。

主な取り組み

- ① 地域広帯域移動無線アクセス (地域BWA) の利活用
- ② 総合的なアプリケーション*の導入
- ③ 情報通信技術 (ICT) を活用した取り組み
- ④ 情報格差を生まない配慮

* Application Software のカタカナ表記の略称。パソコン等の情報処理装置にインストールされた OS (基本ソフト) 上で動作するソフトウェアのことをいいます。

主な計画指標

	基準値 令和3 (2021) 年度	目標値 令和9 (2027) 年度
観光フリーWi-Fiの整備	—	整備済
LINE 公式アカウントの導入	—	導入済
情報通信技術 (ICT) を活用した取り組み事業数	—	2事業

住民

高度情報通信基盤への関心を高めるとともに、その活用に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

住民や来訪者等の利便性向上に向け、高度情報通信の環境づくりを進めます。

(7) 自治・協働：自治と協働のむらづくりの推進

住民の幸せ

- ▶「地域のコミュニティが維持される」
- ▶「団体活動の維持」

施策の
目的と課題

むらづくりへの住民参加を促すため、住民と行政の対話機会の充実や、地域活動への支援、挑戦しやすい環境づくりが求められていることから、住民と行政の対話が充実し、住民と行政のパートナーシップが明確な村を目指します。さらに適切な役割分担のもと、住民と行政による協働のむらづくりが活発な村を目指します。

主な取り組み

- ① 現役世代へ向けた支援の充実
- ② 地域活動に対する補助制度の維持
- ③ 協働の情報発信



主な計画指標

	基準値 令和3 (2021) 年度	目標値 令和9 (2027) 年度
各世代のニーズの把握	—	実施済
地域活動事業費補助金申請件数	12 団体	13 団体
協働のむらづくりに関する情報の発信回数 (ふれあいの郷再編など)	—	年2回

住民

むらづくりへ興味・関心を持ち、身近な取り組みから積極的に参加します。

住民と行政と
いっしょに

行政

住民と行政の明確なパートナーシップのもと、協働による課題解決に取り組みます。

(8) 行政サービス：行政サービスの充実

住民の幸せ

- ▶「オンラインで簡単に手続きができる」
- ▶「信頼ができ、気軽に相談できる」

施策の 目的と課題

住民ニーズを的確に捉えた質の高い行政サービスの提供が求められている中で、役場の DX (デジタルトランスフォーメーション) や住民ニーズの多様化に対応するとともに、職員の資質向上に取り組むなど、住民にとって利便性が高く、質の高い行政サービスが提供できる村を目指します。

主な取り組み

- ① 役場の利便性の向上
- ② マイナンバーカードの普及・活用
- ③ 役場職員の働き方改革・資質向上
- ④ 性の多様性への配慮
- ⑤ 情報発信の強化
- ⑥ 健全な財政運営



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
窓口業務・手続のうちオンライン化した事務数	—	累計11事務
オンライン申請利用件数	—	年100件
マイナンバーカード普及率	38%	100%

住民

むらづくりへの興味・関心を高めつつ、役場へ気軽に足を運び、意見や相談をします。

住民と行政と いっしょに

行政

住民に信頼される職員となり、地域と行政を結ぶ、良きパイプ役となるよう取り組みます。



2

魅力のある
むらづくり



(1) 健康長寿：健康長寿社会の実現

住民の幸せ

- ▶「生きがいがあり、健康で寿命が長い」
- ▶「多様な人材との交流」
- ▶「どの世代も生きがいとしての活躍の機会がある」

施策の
目的と課題

ライフステージに応じた自主的な健康づくりに向け、関係機関の連携強化とともに、幼児期・学齢期からの望ましい生活習慣の定着、健康への意識づけが求められています。そのような中、住民が元気で心豊かに本村で暮らし続けられるよう、地域でつながり支え合い、誰もが活躍できる村を目指した取り組みを推進します。

主な取り組み

- ① 健康づくりと疾病予防の推進
- ② 高齢者の自立支援・重度化の防止
- ③ トビリハシステム[※]の推進
- ④ 認知症対策の推進
- ⑤ 多文化共生・多世代交流等、地域連携の促進
- ⑥ 多様な人材との交流
- ⑦ 多様な交流拠点の整備

※地域における介護予防を強化するため、通所や訪問、地域ケア会議などへのリハビリテーション専門職等の関わりを促しつつ、その一方で、元気な時から要介護認定を受けた後まで、どのような状態の高齢者に対しても、地域の中で切れ目のない支援が受けられる、飛鳥村ならではの支援システムのことをいいます。

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
特定健診受診率	53.1%	60%
一人あたり医療費(後期) 一人あたり医療費(国保)	852,468円 362,494円	現状維持
トビリハシステムの継続的な実施	継続	継続

住民

健康に関心を持ち、健康づくりに取り組みます。

住民と行政と
いっしょに

行政

子どもから高齢者まで、すべての世代の住民の生涯を通じた健康づくりを進めます。

(2) 医療：医療体制の充実・連携強化

住民の幸せ

▶「地域医療体制の充実・連携強化」

施策の
目的と課題

住民一人ひとりの健康状態の適切な把握とともに、診療情報の普及とともに認知度を高め、傷病時に適切な治療を受けられる医療体制の充実が求められています。そのため、効率的な医療体制の構築とともに、その充実が図られた、安心して暮らせる村を目指します。

主な取り組み

- ① 医療の確保・充実
- ② 医療機関への移動手段の確保



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
広域による医療体制への支援	継続	継続
妊産婦および子育て支援タクシー料金助成制度を継続	継続	継続

住民

自分や家族の健康に関心を持ちつつ、医療機関の適正な受診に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

医療の確保とともに、その環境の充実に向けて取り組みます。

(3) 社会福祉：社会福祉の充実

住民の幸せ

- ▶「社会参加による環境の改善」
- ▶「認め合える支援体制の充実」

施策の
目的と課題

少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加等を背景に、地域社会におけるつながりの希薄化、地域課題の複雑多様化が問題となっています。そのような中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域共生社会の実現に向けて取り組み、住民がともに認め合い、支え合うことのできる村を目指します。

主な取り組み

- ① 地域共生社会の実現
- ② 生活困窮者への支援
- ③ 新たな福祉課題への対応



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
重層的支援体制の整備	検討	整備済
くらしのおたすけ隊の活動回数	216回	250回
生活困窮者への支援	継続	継続
新たな福祉課題への対応	継続	継続

住民

地域の困りごとに耳を傾けつつ、進んで助け合います。

住民と行政と
いっしょに

行政

地域共生社会の実現に向け、社会福祉の充実を図ります。

(4) 高齢者福祉：高齢者福祉の充実

住民の幸せ

- ▶「高齢者の外出機会、生きがいづくり」
- ▶「老人クラブだけではない交流の機会」

施策の 目的と課題

高齢者が就業を通して自己の能力を生かし、生きがいを持って社会参加ができる機会の充実が求められている中、本村ではシルバー人材センターを中心として高齢者が活躍しています。引き続き高齢者が自立して、生きがいを感じながら日々の活動に取り組める、社会参加の機会がある村を目指します。

主な取り組み

- ① 生きがいと居場所の創出
- ② 生活支援の充実
- ③ 交流機会の充実
- ④ 給付制度のあり方の検討



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
高齢就労者数(シルバー人材センター登録者数)	90人	100人
給食サービス配食件数	年2,462食	年2,700食
高齢者と子どもの交流機会やイベント	年1回 令和4(2022)年度	年1回

住民

高齢者への支援や地域における見守りを進めます。

住民と行政と いっしょに

行政

高齢者が地域で安心して、自立して暮らせるよう、支え合いの体制づくりを進めます。

(5) 障がい者福祉：障がい者福祉の充実

住民の幸せ

- ▶「誰もが活躍できる地域」
- ▶「住み慣れた地域で生活できる環境」

施策の 目的と課題

障がいのある人も住み慣れた地域で暮らすことができる社会の形成が求められています。障がいの有無に関わらず、住民同士が互いに尊重し、支え合うことのできる、社会的に成熟した村を目指します。

主な取り組み

- ① 就労に向けた環境整備
- ② 生活支援の充実



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
ふれあいの郷における障がい児者の就労機会の場の確保	1カ所	2カ所
福祉施設から一般就労への移行者数	0人	1人
一般就労者移行者の就労定着支援事業の利用率	100%	現状維持
温水プール・ふれあい温泉招待券配布	継続	継続

住民

障がいのある人との交流とともに、積極的に社会参加できる地域づくりを進めます。

住民と行政と いっしょに

行政

障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らせるむらづくりを推進します。

(6) 土地利用：効果的な土地利用

住民の幸せ

- ▶「住みたい人が住める」
- ▶「商業施設等が拡充し住みやすさが向上」

施策の
目的と課題

全国的な人口減少社会の到来と高齢化の波は本村にも影響を与えており、その打開策として若者世代の移住・定住を推進すべく、地域住民等との対話を重ねながら住宅開発等を進める必要があります。適切な開発を誘導するとともに住宅地を確保し、本村の人口減少に歯止めをかけながら持続可能な村の実現を目指します。

主な取り組み

- ① 転入増加・転出抑制の推進
- ② 持続可能性を高める
土地利用の推進



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
新規住宅地分譲数	—	20区画
空き家の除却補助件数	—	累計5件

住民

むらづくりに対する興味・関心を持ち、積極的な参画に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

本村の持続可能性に向けた人口対策とともに、土地の効果的な利活用を進めます。

(7) 居住環境：居住環境の充実

住民の幸せ

- ▶「住環境の保護」

施策の
目的と課題

村内では、交通量の多い道路へのごみ捨て等が散見されると同時に、安心の確保に向けたボランティアの育成や、良好な住宅環境の実現が求められています。そのため、住民と行政の協働を進めながら村内の美化に取り組むなど、安心して快適に暮らせるむらづくりを進めます。

主な取り組み

- ① 環境美化の推進
- ② 防犯対策の充実



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
村内一斉清掃活動の回数	年2回	年2回
防犯カメラの新規設置数	既設51台	累計80台

住民

近隣の住宅環境の向上に協力します。

住民と行政と
いっしょに

行政

住民との協働による住宅環境の向上に取り組みます。

(8) 道路：道路整備の推進

住民の幸せ

▶「渋滞の少ない道路、安全で快適な道路の計画的な整備」

施策の
目的と課題

リニア中央新幹線の開業と、それに伴う中京大都市圏づくりが進められるなど、広域的な交流の活発化を見据えた道路整備とともに、地区からの要望を受けた村道の対応を進めています。村内と村外が円滑に連絡されるための道路整備に向けた取り組みを進めるとともに、安全で快適な道路が整備された村を目指します。

主な取り組み

- ① 安全な道路整備の推進
- ② 日常点検
- ③ 幹線道路等の整備促進



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
ゾーン30プラスの導入	—	導入済
村道の日常点検	月2回	月2回
県道幅の拡幅・歩道設置の関係機関への要請	継続	継続

住民

交通ルールを守り、道路の適正な利用に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

生活に欠かすことのできない道路を安全に維持し、利便性の向上を図ります。

(9) 交通：交通手段の充実

住民の幸せ

- ▶「交通弱者の移動手段の確保」
- ▶「利便性の向上」

施策の
目的と課題

本村では、飛島公共交通バスの蟹江線と名港線、そして事前予約制デマンドタクシーの海南病院通院支援タクシーを運行しています。そのような中、村内企業の従業員をはじめ、住民ニーズに応えつつ、環境変化を踏まえた交通網の再編成や通勤通学の利便性向上など、誰もが移動手段に困らない、住みやすい村を目指します。

主な取り組み

- ① 飛島公共交通バスの再編・充実
- ② 福祉的な交通手段の充実



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
公共交通のサービス水準に対する住民満足度	19.5%	25%
飛島公共交通バスの利用者数	【蟹江線】 149,806人 【名港線】 96,321人	【蟹江線】 165,000人 【名港線】 101,000人
タクシー助成	継続	拡充継続

住民

公共交通機関の積極的な利用によって、公共交通機関の維持に寄与します。

住民と行政と
いっしょに

行政

交通手段を拡充することにより、利便性の向上を図ります。

(10) 上下水道：上下水道の適正管理

住民の幸せ

▶「衛生的なインフラが整備、維持される」

施策の目的と課題

本村の上水道は海部南部水道企業団より供給されています。一方の下水道は処理場の計画的な更新により、機能維持とともに処理負担を軽減していくことが重要となっています。そのことから、施設の管理水準の向上や住民による適正利用とともに下水道（農業集落排水）の合理的運営を進め、衛生環境の整った村を目指します。

主な取り組み

- ① 関係機関との連携
- ② 農業集落排水処理施設等の計画的な更新
- ③ 合併処理浄化槽の維持・設置



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
海部南部水道企業団との連携	継続	継続
農業集落排水処理施設事業処理場の機能強化・更新数	—	2施設
合併処理浄化槽の維持および設置に対する補助制度	継続	継続

住民

日々の生活や活動の中で、水資源を大切に利用します。

住民と行政と
いっしょに

行政

上下水道の適切な維持管理を進めます。

(11) 排水対策：排水対策の強化

住民の幸せ

▶「豪雨を想定した排水対策がなされている」

施策の目的と課題

村内には海拔ゼロメートル地域が広がっており、水害に対する潜在的な危険性が高まっていることから、有事を想定した排水機能のバックアップ体制が求められています。そのため、排水処理能力の向上を図りつつ、大雨等による浸水被害や道路冠水の無い、農業排水と防災上の排水が考慮された村を目指します。

主な取り組み

- ① 排水機能の維持・増強
- ② 非常時におけるバックアップ体制の構築
- ③ 雨水排水施設の整備

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
堤防および排水施設の強化に向けた国・県等への要望活動の継続	継続	継続
排水路の浚渫(市街化区域内)	継続	継続
土地改良区と有事を想定した排水訓練の実施	—	年1回
市街化区域の側溝等改修延長	56 m	累計 300 m

住民

排水路にごみを捨てないようにするなど、ルールを守った暮らしに努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

日頃から排水機能の維持・増強に向けて取り組みつつ、有事を想定した訓練に努めます。

(12) 環境問題：環境問題対策の充実

住民の幸せ

▶「環境への配慮が実感できる」

施策の目的と課題

行政の率先した環境保護活動や循環型社会の形成、環境対策の充実、脱炭素社会の実現、環境保全の取り組みなど、人と自然が共生できる社会の構築が求められています。そのため、地球温暖化対策や脱炭素社会の形成に向けて取り組みを進め、環境を悪化させない、住みやすい村を目指します。

主な取り組み

- ① 環境対応車や関連設備の導入
- ② エネルギー動向を踏まえた公共施設の整備・拡充
- ③ 環境対策の充実
- ④ 公共施設の脱炭素化に向けた設備の設置

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
環境対応車の導入	—	導入済
温室効果ガスの排出量削減に寄与する補助制度	—	整備済
公共施設の脱炭素化に向けた設備の設置	—	設置済

住民

環境を大切にすることを育むとともに、暮らしの中での実践に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

環境に配慮した暮らしの周知・啓発とともに、行政における脱炭素化を推進します。

(13) 廃棄物対策：廃棄物対策の充実

住民の幸せ

- ▶「廃棄物の適切な処理、再利用」
- ▶「家庭ごみを減量し、排出を減らす仕組み」

施策の目的と課題

住民にとって身近な廃棄物行政の変化に対して適宜対応し、分かりやすく説明することによって住民の理解を得ていく必要があります。そのため、廃棄物対策の充実に取り組み、循環型社会に適合した村を目指します。

主な取り組み

- ① 循環型社会の形成
- ② 搬出困難者を対象とした戸別収集の導入
- ③ ごみの減量化



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
資源ごみ(ペットボトルなど)回収拠点数	1カ所	2カ所
資源化率	13%	22%

住民

資源を大切に活用する意識を育むとともに、その実践に努めます。

住民と行政と
いっしょに

行政

循環型社会の形成に向けた取り組みを推進し、協働による廃棄物対策を進めます。

(14) 防犯：防犯対策の充実

住民の幸せ

- ▶「防犯カメラが整備されている」
- ▶「相互見守りができている」

施策の
目的と課題

防犯啓発活動による地域のつながりの強化とともに、防犯設備の適切な配備による犯罪抑止力の向上が求められています。そのため、地域住民による防犯力の強化とともに防犯カメラの拡充等、ソフトとハードの両面から取り組みを進めることで、安心して住み続けることのできる村を目指します。

主な取り組み

- ① 防犯カメラの拡充・設置
- ② 地域住民による防犯力の強化
- ③ 地域の防犯機能の維持・強化
- ④ 防犯設備の充実



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
防犯カメラの新規設置数	既設 51 台	累計 80 台
消費者研修会(出前講座等)	年1回	年1回
防犯補助金制度の継続	継続	継続

住民

地域における防犯活動に取り組み、支え合いの意識を育みます。

住民と行政と
いっしょに

行政

協働による防犯意識を高めながら、ソフトとハードの両面から防犯力の強化を図ります。

(15) 消防：消防体制の維持・充実

住民の幸せ

- ▶「常設消防に加えて消防団が機能している」

施策の
目的と課題

消防団員の確保や訓練への参加が困難な地区が見受けられることから、消防団の再編や女性消防団員の確保による対応力の維持・強化が求められています。そのため、地域消防力の確保とともに企業の消防意識の高揚を図ることにより、地域の消防力が高く、住民相互の協力体制が構築されている村を目指します。

主な取り組み

- ① 海部南部消防署の機能強化
- ② 地域消防力の確保
- ③ 消防施設の維持・整備



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
海部南部消防署の機能強化	継続	施設更新
消防団員数	139 人	現状維持
消防署との連携による消火栓の確保	継続	継続

住民

地域における防火啓発に積極的に取り組み、支え合いの意識を育みます。

住民と行政と
いっしょに

行政

地域における消防力の強化とともに、啓発に取り組みます。

(16)交通安全：交通安全の実現

住民の幸せ

▶「物理的に車両との接触が避けられる安全な道路」

施策の 目的と課題

交通事故の発生を抑制すべく、交通安全意識の浸透に向けた継続的な啓発が求められていることから、その意識の向上とともに安全な道路環境を整備・構築することにより、交通事故のリスクの少ない安全な村を目指します。

主な取り組み

- ① 安全が確保された歩道の整備
- ② 安全に配慮した道路設計の推進



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
歩車道分離の延長	—	新規 140 m
交通安全指導員数	10 人	10 人
年間交通事故発生件数	89 件	80 件

住民

交通安全の意識を高め、交通ルールを遵守します。

住民と行政と
いっしょに

行政

安全な道路環境を整備し、交通事故のリスクを低減します。



3

人づくりによる
むらづくり



(1)子育て支援：子育て支援の充実

住民の幸せ

- ▶「子育てに関する不安を払拭」
- ▶「子育てと仕事が両立できる環境」

施策の
目的と課題

子育て家庭のニーズへきめ細かに対応しつつ、適切なサービスの提供が求められていることから、子育て中の保護者の不安を軽減しながら、世代間の交流機会を図るとともに、安心して子どもを産み育てられる村を目指します。

主な取り組み

- ① 世代間における交流機会の充実
- ② 切れ目のない子育て支援体制の充実
- ③ 不妊治療への支援
- ④ 子育て世代の負担軽減
- ⑤ 妊産婦健診の自己負担額の軽減
- ⑥ 多胎児家庭への支援



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
高齢者と子どもの交流機会やイベント	—	年1回
関係機関の連携の継続	継続	継続
子育て世代への育児奨励金や就学祝金の継続	継続	拡充継続

住民

子どもたちをあたたかく見守り、地域ぐるみの子育てに取り組めます。

行政

子どもと子育て家庭にやさしい、子育てしやすい村を目指します。

住民と行政と
いっしょに

(2) 学校教育：学校教育の充実

住民の幸せ

- ▶「子どもへの食育の推進」
- ▶「未来を担う子どもたちの育成(自主性)(論理的思考)(自己表現)」
- ▶「誰ひとり取り残さない教育環境」
- ▶「学校と家庭の連携が十分に取れる環境」
- ▶「教職員の研修の充実」
- ▶「子どもがすこやかに育つ地域の形成」
- ▶「郷土に誇りを持つ人材の育成」
- ▶「高齢者との交流」

施策の
目的と課題

本村唯一の学校である飛島学園は、開校して12年、小中一貫教育をさらに推進する体制となっています。学園と地域の連携を進めながら、安心・安全でおいしい給食が提供される村を目指します。また、グローバル社会を生き抜く子どもを育成するとともに、一人ひとりが主役となれるあたたかい支援体制を構築します。

主な取り組み

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| ① 安心・安全な給食の無償提供 | ⑧ 安全・快適な教育環境の構築 |
| ② 生き抜く力の育成 | ⑨ 特別支援教室の整備 |
| ③ 英語力を伸ばす教育の推進 | ⑩ 幅広い選択を可能にする制服等の検討 |
| ④ 情報発信能力の形成 | ⑪ 通学時における安全確保 |
| ⑤ 地域との連携強化 | ⑫ ふるさと教育の推進 |
| ⑥ 誇りを育む教育の推進 | ⑬ 他校との交流 |
| ⑦ インクルーシブ [※] 教育システムの構築 | |

※「仲間はずれにしない」「みんないっしょに」という意味で、インクルーシブ教育とは、障がいのある子どもも、ない子どもも、ともに学び、ともに育つことができるよう、最初から分けることなく包み込むことをいいます。

主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
減農薬野菜を使用した給食の回数	年3回	年10回

住民

地域ぐるみで生徒の健全な成長を見守ります。

住民と行政と
いっしょに

本村ならではの特色ある学校教育を展開し、ふるさとを愛する生徒を育てます。

行政

(3) 若年層支援：若年層に向けた支援の継続

住民の幸せ

- ▶「経済環境によらず誰もが等しく学べる環境」

施策の
目的と課題

大学生向けの奨学金制度は本村の特色となっており、少子化の今だからこそ継続的な支援が求められています。そのため、学生を対象とした奨学金制度の創設により、誰もが安心して学べる機会を確保することで、若者にも手厚く支援する村を目指します。

主な取り組み

- ① 大学進学者への支援の継続



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
大学生向け奨学金の継続	継続	継続

住民

支援を受けた大学等進学者は、いずれ村に貢献する活動を行います。

住民と行政と
いっしょに

経済環境によらず、誰もが等しく学べる環境づくりを進めます。

行政

(4) 青少年育成： 青少年の健全育成

住民の幸せ

▶「家庭教育への支援が行き届く環境」

施策の 目的と課題

地域課題の複雑多様化を背景として、家庭教育はもとより、地域全体で青少年を育てていく意識の醸成が求められていることから、家庭教育への支援を行き渡らせつつ、地域ぐるみで青少年を育み、健全な青少年が育つ村を目指します。

主な取り組み

- ① ボランティアの支援
- ② 啓発活動の推進



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
子育てネットワーカーの人数	6人	8人
青少年の健全育成、非行問題に関する啓発	年1回	年1回

住民

青少年の健全育成に係る啓発活動に積極的に参加します。

住民と行政と
いっしょに

行政

ボランティアの確保とともに講座を開催し、青少年の健全育成に努めます。

(5) 生涯学習： 生涯学習の充実

住民の幸せ

▶「自身が求める活動機会が用意される」

施策の 目的と課題

多様化する住民ニーズに応えた活動機会の提供とともに、住民それぞれが興味を持つ分野で学習を進められる環境づくりが求められる中、文化協会等の活動を支援しつつ、住民ニーズを捉えた、誰もが活躍の機会がある村を目指します。

主な取り組み

- ① ニーズに合った講座の開催
- ② 村内イベントの充実
- ③ 若年層にターゲットを絞った取り組みの展開
- ④ 住民の情報機器操作能力(情報リテラシー)の向上
- ⑤ 新規会員の計画的な募集



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
村内イベントの参加者数	年2,000人	年5,000人
村内企業と連携した講座回数	—	年1回
スマートフォン教室の実施	—	年1回

住民

講座やイベントへ積極的に参加します。

住民と行政と
いっしょに

行政

各種講座等の充実・発信に取り組みつつ、生涯学習を通じた交流を呼びかけます。

(6) スポーツ：スポーツの振興

住民の幸せ

▶「自身が求める活動機会が用意される」

施策の
目的と課題

住民ニーズを捉えたイベントの企画・立案とともに、スポーツ協会やスポーツ少年団の自主的な管理運営に向けた取り組みが必要となっていることから、各種団体におけるスポーツ活動をはじめ日頃の活動を支援しつつ、住民ニーズを的確に捉えた、誰もが活躍の機会がある村を目指します。

主な取り組み

- ① スポーツイベントの検討・実施
- ② 指導者の育成支援
- ③ 地域部活動の検討・実施
- ④ 新規会員の計画的な募集



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
スポーツ教室で実施している種目数	23 種目	25 種目
スポーツ協会の会員数	既存会員 583 人	会員数 650 人

住民

日常的にスポーツに親しみ、イベントに参加します。

住民と行政と
いっしょに

幅広いスポーツ活動を振興するとともに、スポーツイベントの実施・広報に取り組みます。

行政

(7) 文化：文化振興の推進

住民の幸せ

- ▶「地域芸能を守る」
- ▶「歴史と文化の保護、管理、活用」

施策の
目的と課題

住民相互のつながりが希薄化する中、郷土の共通財産である伝統芸能や文化財を守り、大切にしている意識の醸成や歴史・文化に対する関心を高めていくことが重要であることから、地域文化や郷土芸能を適切に維持管理するとともに郷土愛の醸成に取り組むことで、歴史と文化を大切にしている村を目指します。

主な取り組み

- ① 他地域との交流促進
- ② 村制150年を見据えた村史の編さん



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
友好自治体の文化団体との交流回数	—	各団体1回
村史編さんに向けた準備	継続	継続
郷土資料室の来館者数	年10人	年50人

住民

文化振興の事業へ積極的に参加します。

住民と行政と
いっしょに

文化振興に関する情報発信を強化し、郷土芸能等の取り組みを展開します。

行政

(8) 多様な人材の活躍・育成:

多様な人材の活躍・育成の推進

住民の幸せ

- ▶「誰もが多文化共生を学ぶ機会がある」
- ▶「グローバル化に対応できる人材の育成」

施策の目的と課題

グローバル化の進展を背景に、国際社会に貢献できるグローバルな視点を持った人材の育成が求められています。本村の特色である中学生の海外派遣や小中学生向けの英語教室に取り組みつつ日本人と外国人の垣根を越えた相互理解に努め、誰とでもコミュニケーションが取れる、多様な人材が活躍する村を目指します。

主な取り組み

- ① グローバル人材の育成
(海外派遣事業の継続など)
- ② さまざまな国の文化に触れる講座の開催
- ③ 広報等における対応の充実



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
英語教室の参加者数	年 75 人	年 100 人
異文化体験講座の参加者数	—	年 40 人
外国人向けホームページの設定	—	設定済

住民

相互理解に努め、積極的な交流を図ります。

住民と行政と
いっしょに

行政

外国人住民と日本人住民双方の理解を促すべく、取り組みを進めます。

(9) 男女共同参画: 男女共同参画社会の形成

住民の幸せ

- ▶「多様性に配慮のできる社会環境」
- ▶「女性が参画しやすい社会環境」

施策の目的と課題

地域社会における女性の活躍を促進するため、男女が協力し合う意識の醸成が重要となっています。そのため、平成 31 (2019) 年 3 月に策定した「飛島村男女共同参画推進プラン 2019-2028」に基づきながら、男女が互いに認め合い、尊重し支え合うことのできる、成熟したコミュニティとしての村を目指します。

主な取り組み

- ① 学習機会・啓発活動の充実
- ② 地域社会における女性の活躍の促進
- ③ 男女間の暴力の根絶



主な計画指標

	基準値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
男女共同参画社会の実現に向けた講座の開催	—	年 1 回
審議会等における女性委員の比率	19.4%	30%
村広報誌・村公式ホームページによる啓発回数	年 2 回	年 6 回

住民

男女の相互理解を深め、実践に生かします。

住民と行政と
いっしょに

行政

さまざまな機会を捉えて、男女がともに参画できる社会づくりの啓発を進めます。





第5次 飛島村総合計画

発行：令和5（2023）年3月

飛島村役場

〒490-1436 愛知県海部郡飛島村竹之郷三丁目1番地

TEL：0567-52-1231

FAX：0567-52-2320